

(お知らせ)



平成21年 7月13日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

タービン駆動原子炉給水ポンプ（A）切替に伴う出力の変更について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット）は定格熱出力一定運転中のところ、7月12日7時00分頃にタービン駆動原子炉給水ポンプ（A）^{*1}の制御用油フィルター^{*2}差圧が上昇していることを確認しました。その後、監視を強化して毎時データ採取を継続してきましたが、差圧の上昇が継続していることが確認されたため、予備の電動機駆動原子炉給水ポンプに切り替えて点検を行うこととしました。

このため、7月12日14時00分から電気出力を約90万キロワットまで低下させる操作を開始し、その後、予備の電動機駆動原子炉給水ポンプに切り替え、同日、21時00分に電気出力を元の状態に戻すとともに、当該フィルターの取替えを実施しました。

なお、当該フィルターの差圧が上昇した原因について調査してまいります。
この事象による外部への放射能の影響はありません。

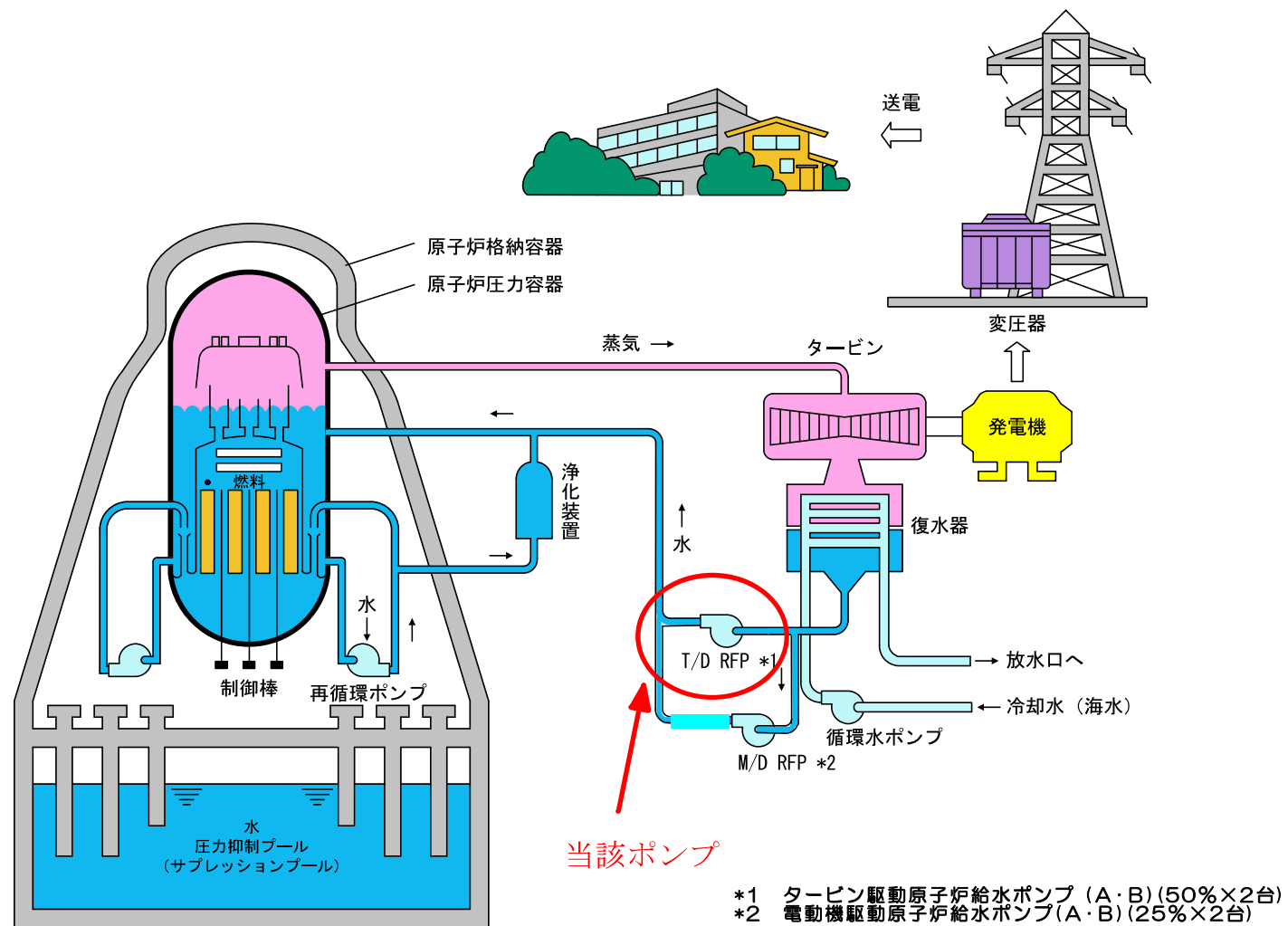
- * 1 冷却水を原子炉内に供給するポンプで、炉内の蒸気の一部を駆動源とする。
- * 2 駆動用蒸気タービンの速度加減弁を制御する油系統のフィルター。12日に47kPaまで上昇し、その後、約4kPa/hの割合で上昇（差圧警報値103kPa）。

添付資料－1 東海第二発電所 主要系統概略図

添付資料－2 タービン駆動原子炉給水ポンプ（A）制御油系統概略図

以 上

東海第二発電所 主要系統概略



タービン駆動原子炉給水ポンプ（A）制御油系統概略図

